

外郭団体経営健全化方針の概要と取り組み状況

【名古屋食肉市場株式会社】

経営健全化方針の記載内容	令和5年度の取り組み結果
[市] 債務超過解消のために市支援や経営改善の指導を継続する。	債務超過解消の早期回復に向けて経営改善の指導を行うとともに、飼料・燃料価格の高止まりや、物価高による消費の減退など、川上・川下の業界関係者の厳しい状況下における卸売業者の経営への影響を注視しながら、特別集荷促進事業補助などの支援を行った。
集荷経費の削減 - 出荷奨励金等の引き下げを出荷者と調整し、経費の削減に取り組む。 - 出荷懇請による集荷を強化する地域について、輸送経費助成など集荷経費の負担が大きい遠方から、集荷経費の負担が少ない近隣へシフトしていくことにより、利益の増加を図る。	- 物価高騰の影響はあるが経費の抑制に努めた。 - 近隣からの集荷を行うとともに、買参者のニーズに合わせ鹿児島・宮崎などの遠方からの集荷を行い、頭数を確保した。
新規事業の検討 - 卸売市場法改正による規制緩和を受け、収益を拡大するため、国の推奨する輸出事業やITの活用を含め、新規事業への取り組みを検討する。 - 新たに部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性向上、新規買参人の開拓を図る。	- 産地とのつながりを強化し、頭数の確保に努めた。 - 部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性の向上に努めた。
人件費の抑制 正規職員数を見直し、嘱託・臨時職員を活用することで人件費の抑制を図る。	常勤職員1名と非常勤職員1名の退職があったが、新規採用は行わなかった。なお、退職した常勤職員については、嘱託職員として採用し人員は確保した。
ブランド牛の活用 出荷者・買参人を交え、ブランド牛の強化に取り組み、取引単価の上昇・市場価値の上昇を図る。	みかわ牛や鹿児島・宮崎などのブランド牛の集荷に努めることにより、市場価値の上昇に努めた。
その他 引き続き、資金需要に応じた借入による支払利息の縮減、販売管理費の節減など経費削減に取り組むとともに、与信管理強化による債権管理につとめ、出荷懇請活動による取扱高の確保に取り組む。	- 資金需要に応じた借入をし、支払利息の縮減に努めた。 - 与信管理を強化し債権管理に努めた。 - 取扱高の確保に努めた。

団体名(名古屋食肉市場株式会社)

○法人の財務状況
(貸借対照表から)

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産総額	2,977,778	3,050,593	3,000,345	3,123,414	3,482,008
負債総額	3,919,508	3,878,077	3,691,128	3,662,634	3,852,040
純資産総額	▲ 941,730	▲ 827,484	▲ 690,783	▲ 539,220	▲ 370,032

(損益計算書から)

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	6,720,117	6,136,305	6,168,380	6,598,305	6,672,729
経常費用	6,576,860	5,983,167	5,968,878	6,401,049	6,436,398
経常損益	143,257	153,139	199,502	197,256	236,331
経常外損益	12,771	13,567	▲ 2,800	27,907	12,987
当期純損益	107,718	114,246	136,702	151,563	169,188

○財政的リスクの状況

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
債務超過額	941,730	827,484	690,783	539,220	370,032
損失補償、債務保証及び 短期貸付けの合計額(A)	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
標準財政規模(B)	646,827,243	654,510,356	673,008,099	664,266,118	678,205,853
(A)／(B)	0.56	0.55	0.53	0.54	0.53